# 令和６年度　学校教育目標

千早赤阪村立千早小吹台小学校
校長　大門 賀子

## ～だれもが輝きひびき合う学校をめざして～

《キャッチフレーズ》 やさしさと笑顔いっぱいの学校
《教育目標》「豊かなこころ」「確かな学力」「健康な身体」の育成

| めざす学校像 | めざす子ども像 | めざす教師像 |
|---|---|---|
| ○明るい学校<br>○楽しい学校<br>○開かれた学校 | ○人の気持ちがわかる子<br>○すすんで学ぶ子<br>○元気でたくましい子 | ○人権意識を大切にする教師<br>○授業を工夫改善し研修に努める教師<br>○チームを意識し緊密に連携協力する教師 |

《重点目標》

◆『ともに学び ともに育つ』支援教育の視点に基づいた学校作り（三年目）

個性を認め尊重し合い、協力し、だれもが安心して学べる「授業」「学校環境」を作る

・児童それぞれの良さを認め、生かし、寄り添い、助け合う姿勢を大切にしたクラス作り
（自尊心、自己肯定感、自己有用感の高揚、他者理解の促進、人権意識の向上）

・教職員それぞれの良さを発揮し、補い合い、組織的に取り組む職員室作り(報・連・相の徹底)

・授業力の向上（「わかる授業」、「学ぶ意欲を高める授業づくり」に向かう取組み）

『チーム千早小吹台』

◆教育の個別最適化、次世代型学習の推進、確立

一人１台端末をより良く活用するための研究・実践を推進するとともに、自学自習を進めるためのノート作りを推進し、次世代型学習のあり方を追求する

・デジタル教科書、AIドリル、グーグルクラスルーム、ロイロノート等を活用しながら、「個別最適化された学び」と「協働学習」のあり方、可能性について引き続き研究していく。

◆特色ある学校作りの推進（三年目）

地域と連携を取りながら、学校教育の課題に取り組むとともに、郷土である大阪府唯一の村「千早赤阪村」に誇りと愛着を持ち、さらに広い世界ともつながろうとする子どもたちを育む

・郷土学習を進める（歴史・文化・自然・名所などにおける学習内容の充実）

・人権意識を高める国際理解学習の継続と質の向上に努める
（リモート交流やゲストティーチャーによる国際理解授業）

・言語活用能力（日本語・英語）、発信力を高め、校内、校外、地域へ発信する機会を増やす
（全校朝礼・校内放送・異学年交流・HPの活用、通信やポスター・チラシなどの文書作り）